

# T's ボーンスプレディングを使用した、Legacy™のインプラント窩形成径について

監修:椎貝 達夫

## T'sボーンスプレディングの使用目的と最終形成径

- ① **Bone Spreading** : 幅の狭い骨をスプレッターで水平的に押し広げていく手技。骨の概形はやや変形し類舌的に拡大する。  
最終径: **インプラントと同じ。骨幅が小さい場合は少し大きめでも可。**
- ② **Bone Expansion** : 幅の狭い骨をスプレッターで水平的に積極的に拡大する手技。骨の切開法を併用することで骨の概形はやや変形し類舌的に拡大する。  
最終径: **インプラントと同じ。**
- ③ **Bone Reshaping** : 抜歯窩の骨をスプレッターで変形させ、残存骨を有効に活用してインプラント窩を形成する手技。主として上顎前歯部の抜歯即時埋入時に応用する。  
最終径: **インプラントと同じ。骨幅が小さい場合は少し大きめでも可。**
- ④ **Bone Condense** : 脆弱な骨をスプレッターで水平的・垂直的に圧縮し、局所の骨密度を改善する手技。骨の概形は変化しない。  
最終径: **インプラントより小さく。**

**Point** ①Bone Spreading、②Bone Expansion、③Bone Reshaping の場合は、スプレッター使用後、中央から先端にかけての形成窩直径をインプラントサイズに合わせるよう更に拡大する必要があります。

## ①Bone Spreading、②Bone Expansion、③Bone Reshaping は、最終拡大には下記ボーンスプレディングを使用

-  3.7mmD 用 T'S ボーンスプレディング TS3.7TSV φ3.2/3.7
  -  4.2mmD 用 T'S ボーンスプレディング TS4.1TSV φ3.6/4.1 (4.1mmD用)
  -  4.7mmD 用 T'S ボーンスプレディング TS4.7TSV φ4.2/4.7
- ※深度マーキングは Legacy™インプラントの長さに合わせて記されています。

## ④Bone Condenseは、最終拡大には下表を目安にボーンスプレディングを選択

### 3.7mmD インプラント

長さ	最終拡大用 スプレディング	形成孔直径 (最上方) mmD
8mmL	4.0L	3.5
10mmL	4.0L	3.6
11.5mmL	3.8L	3.5
13mmL	3.6L	3.5
16mmL	3.6L	3.6

### 4.2mmD インプラント

長さ	最終拡大用 スプレディング	形成孔直径 (最上方) mmD
8mmL	4.4L	3.9
10mmL	4.4L	4.0
11.5mmL	4.2L	3.9
13mmL	4.2L	4.0
16mmL	4.0L	4.0

### 4.7mmD インプラント

長さ	最終拡大用 スプレディング	形成孔直径 (最上方) mmD
8mmL	<b>4.8S</b> ショートタイプにて最終形成	4.6
10mmL	<b>4.8S</b> ショートタイプにて最終形成	4.5
11.5mmL	4.8L	4.5
13mmL	4.8L	4.6
16mmL	4.6L	4.6

※最終拡大用スプレディングの黒文字は基本術式用、グレー文字はオプションの中間用です。お手持ちに無い場合はお問い合わせください。

※開口度の関係でショートタイプをご使用される場合、取扱説明書に記載されたサイズ表をご参照の上選択ください。

上記の形成孔直径は Legacy™の長さまで穿孔した場合の数値です。  
深度についてはマーキングを参考にして調整してください。



T'sボーンスプレディング